

リーディングDXスクール事業【実践事例】

垂水市立垂水小学校（鹿児島県）

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」

5年総合的な学習の時間（演習林活動）

本校では、特色ある教育活動として、「演習林活動」を年間を通じて行っている。

特に、人と森の関係、森林の利用をテーマについて学習をすすめる中で、長崎大学教育学部と鹿児島大学農学部の准教授から林業に関する専門的な指導を受けている。

各報告会では、Teamsのオンライン会議システムを用いて、大学の先生方にも参観していただき、講評をしていただいた。



2学期 中間報告



3学期 報告会

【活動テーマ】

- 1 学期：森の探検隊
- 2 学期：きこりにチャレンジ
- 3 学期：報告会

未来へつなぐ林業

「林業とは何かを、体験を通して学習してください」という鹿児島大学の先生のあいさつで、高際演習林での森林体験学習が始まりました。総合的な学習の時間で5年生が毎年行っています。

スギの間伐や、植林の体験をしました。林業にたずさわる方が「間伐の際は、のこぎりを水平にして切る」とか「植林する時、周りの草を取り除く」ということをいねいに教えてくれました。

高性能林業機械の実演も見学しました。人の手ではできない丸太切りを、すばやく正確にやっていたのかよかったです。専門家や大学生の話聞いて、木は先人たちが未来のため愛と夢をもって大切に育ててきたと知りました。林業のすばらしさを、若い人たちにもっと知ってほしいという思いが伝わってきました。

林業は過去から未来をつなぐ、大切な仕事だと学習することができた一日でした。こんなすばらしい仕事がある垂水をほこらしく思いました。

【南日本新聞 十二月三日 掲載】（垂水市）

垂水小五年

11月18日の「演習林活動」の様子



木の間伐

スギの植林